

## 年 度 評 価 シ ー ト

課名 子ども未来課

施設の名称 清水中央子育て支援センター	指定管理者名 (福)静岡市社会福祉協議会
<p>1 履行状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子育て交流サロンが4月11日から5月31日まで休館となったが、年間を通して協定書（仕様書）及び事業計画書に従って、適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務</p> <p>施設内の衛生管理・清掃業務や設備の日常点検等、仕様書に沿って適切な施設管理、良好な環境整備が行われている。</p> <p>(2) 施設利用者数</p> <p><b>【一時・月保育室】</b></p> <p>年間開設日数 359 日</p> <p>(一時保育) 利用者数 1,892 人（前年度 2,448 人） 利用時間数 11,808 時間（前年度 14,755 時間）</p> <p>(月保育) 利用者数 2,484 人（前年度 2,407 人） 利用時間数 21,115 時間（前年度 20,952 時間）</p> <p>一時保育と月保育を合わせた保育受入れ人数は、4,376 人（前年度 4,855 人）であった。新型コロナウイルスの影響により、全体の利用者数は減少しているが、月保育に限ると若干増加している。4月5月に臨時休園となった園児が月保育を利用することもあり、利用者への利便性につながっている。また、利用者の低年齢化が顕著に表れており、保育施設整備の充実や幼児教育・保育の無償化の推進も影響していると考えられる。</p> <p><b>【子育て交流サロン】</b></p> <p>年間開館日数 255 日</p> <p>年間利用者数は 9,167 人（前年度 15,348 人）、相談件数は 1,440 件（前年度 1,514 件）であった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、年間の利用者及び相談件数が大幅に減少している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月11日から5月31日まで休館とし、再開後も利用人数及び利用時間を制限したことから、利用者数は前年度よりも減少している。休館期間中は、ホームページを活用し、家庭にいる親子向けに動画配信や情報発信をするなど、利用者寄り添った子育て支援を実施していた。再開後は感染防止対策を徹底し、利用者の安全を配慮した運営がなされている。コロナ禍における利用者の不安に寄り添った相談支援を行い、清水区の子育て支援の中核施設として、継続し安定した運営を行っているといえる。</p>	

### (3) 事業実施状況

子育てに関する交流事業、相談事業、情報の収集や提供などについて、事業計画に沿って適切に行われている。子育て支援に関する講座等は 70 回以上（毎日、毎週開催しているものは含まない）行われる等、多くの講座やイベントが定着し、魅力ある事業展開がされている。

主な事業は以下のとおり

赤ちゃんサロン、リトミック、育児相談、親カフェ、青空サロン、制作等  
子育て支援センター担当者研修会開催、静岡市子育て支援センター連絡会開催等

### (4) 職員配置状況、職員研修等

仕様書に基づき、最も利用者が多くなる時間帯において最低限下記の職員を配置している。

- |           |                           |
|-----------|---------------------------|
| ①所長 1人    | 指導員及び保育士等の管理者として、職責を果たせる者 |
| ②子育て交流サロン | 相当な知識及び経験のある指導員 2人        |
| ③月保育・一時保育 | 相当な知識及び経験のある保育士 2人 保育士 6人 |

近年は多様な生活環境から生まれる保育の必要性が増していることや、流動的な保育人数に対応しなければならないことから、静岡中央子育て支援センターと同様に、臨機応変な職員の配置が求められる。

## 2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

特にクレーム等もなく、日ごろから利用者の声を積極的に取り入れていく運営方法は評価できる点であり、今後も継続されることを期待したい。

## 3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

### 【一時保育】

利用者満足度調査における調査項目のうち「非常に満足・満足」と答えた人は、①利用しやすさと②受付時の対応が 97.1%、③お迎え時の対応と④子どもの様子が 100.0%という結果であり、多くの利用者に対し満足のいく質の高いサービスを提供していることがわかる。

### 【月保育】

利用者満足度調査における調査項目においては、①利用のしやすさ②受付時の対応③お迎え時の対応④子どもの様子のすべての項目において「非常に満足・満足」と答えた人が 100%という結果であり、多くの利用者に対し満足度の高いサービスを提供していることがわかる。

利用理由については、特に「仕事」（50%）が大きな割合を占めており、「通院」及び「リフレッシュ」（共に 9%）が続いている。このことから、緊急時や待機児童の受入はもちろん、多様化するニーズに対応できる受入施設として必要性が高いことが分かる。

### 【子育て交流サロン】

調査項目のうち、①施設の設定②あそびの環境③職員の対応 100%、④講座・イベ

ントの内容において98.9%が、「非常に満足」「やや満足」という結果であり、非常に高い満足度を獲得している。

室内外で遊べる点、落ち着いた温かい雰囲気が高く評価されている。

#### 4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については概ね適切な経理状況である。

今後とも効率的な経営に留意した上で、より充実した事業実施のための予算執行を望みたい。

#### 5 総合的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

全体的に良好な子育て支援及び保育サービスの提供が行われている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少したことで目標値（年間利用者数：一時保育7,000人・子育て交流サロン12,800人）に届かなかったが、コロナ禍で人との交流が減っている中で子育てをする親子への丁寧な支援が行われており、業務は適正に実施できている。また、月保育についてはコロナ禍でも利用が増加しており、多様化する家庭の状況に寄り添った保育を提供できており利用者からは高い満足度を得ている。

業務においては、コロナ対策として利用時間や人数の制限、施設内の消毒等を実施している。講座やイベントは人数制限や時間短縮等、例年とは形式を変更して実施している点や、利用人数・相談件数は減少したが、コロナ禍で例年とは異なる不安を感じる親への傾聴・情報提供・関連機関への連携をより丁寧に行い相談活動の充実を図っている点等、指定管理者の創意工夫が見られた。

例年実施していた「まちかどサロン」や「銀ぶらマルシェ」等の、地域との交流が実施できなかったが、近隣の児童館との交流を行い、清水区内での子育て支援の連携を築いている。

清水中央子育て支援センターは清水区の子育て支援において中核となる施設であることから、今後においても、ニーズを確実にとらえ、さらなる地域との連携事業の展開を期待するとともに、安心安全な保育環境の提供を継続していくことを期待する。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。